

岐阜ジョイント・ディグリーシンポジウム2021を開催

【概要】

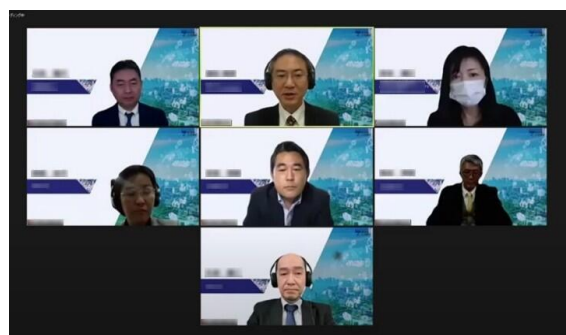
令和3年12月9日（木）～10日（金），オンライン（Zoom）及び一部対面にて，岐阜ジョイント・ディグリーシンポジウム2021を開催しました。本年度で3回目となる本シンポジウムは，東海国立大学機構JDPシンポジウム（以下，THERS JDPシンポジウム）を東海国立大学機構が，学術セッション，産官学金連携セッションを岐阜大学グローバル推進機構が主催で開催しました。

松尾機構長からの開会挨拶の後，「ニューノーマル時代のジョイント・ディグリー～教育研究の国際化と地方創生～」をテーマとしたTHERS JDPシンポジウムでは，岸本文部科学省高等教育局高等教育国際戦略プロジェクトチームリーダーによる「ニューノーマル時代の国際教育交流」と題した基調講演が行われ，ジョイント・ディグリープログラム（以下，JDPという）のメリットと課題，今後の方向性等が，具体的事例と共に伝えられました。

講演後，植松岐阜大学グローバル推進機構長を座長に，岸本氏，一般社団法人中部経済連合会，立命館大学，名古屋大学及び岐阜大学とで，JDPが進める人材育成について，活発な意見交換がなされました。閉会にあたり森脇大学総括理事・副機構長から，JDPを含む国際連携教育への社会からの期待は高く，今後も関係機関との情報交換を密にするとともに，日本，ひいては世界の発展に寄与していきたい，また，全国大学JDP協議会は不可欠であり，広く参画をお願いしたい旨挨拶がありました。

学術セッションでは，「持続可能な地域開発；SDGsとその先に向けて」をテーマに，地域がそれぞれ持つ構想，地域開発計画や地域産業による環境に配慮したグリーンテクノロジーの事例などを共有し，参加者による意見交換が行われました。

産官学金連携セッションでは，「国際連携ジョイント・ディグリーを基軸とする地方創生」をテーマに，東海地域とJDP連携先の北東インド及びマレーシアを結ぶ地域創生及びSDGsとカーボンニュートラルに資する竹資源について，国内の産業界・金融関係者，行政関係者，大学関係者の間でパネルディスカッションが行われました。また，ブース展示では，東海地域の17の企業・機関が本学学生を対象に自社・機関の紹介を行うと共に，企業間での交流を深めました。



THERS JDPシンポジウムディスカッションの参加者



産官学金連携セッションブース展示の様子